



劇場型文化施設の「まち」への貢献度の考察 ～地方小都市のケースにおける調査報告～

背景

存続が課題となる事が多い劇場型文化施設の持続可能性を探究する

都市形成において市民の文化志向性向上のために「劇場型文化施設」は良質で安価に文化芸術を提供するには有効な場であるとされている。しかしながら、多額の維持管理費を要する公共施設であり、存続が議論の対象となっているのも事実である。そこで本研究では「まち」への貢献度の調査を通して劇場型文化施設の持続可能性を探究することを目的とする。

問いと仮説

【仮説】劇場型文化施設の「まち」への貢献度は高い

【問い】劇場型文化施設は「まち」に対し貢献度を保持しているのだろうか？

〈今回採用する分析視角〉

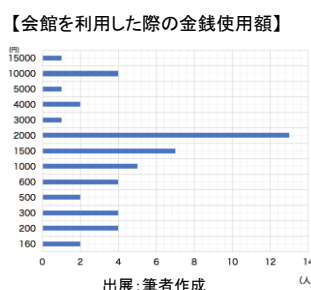
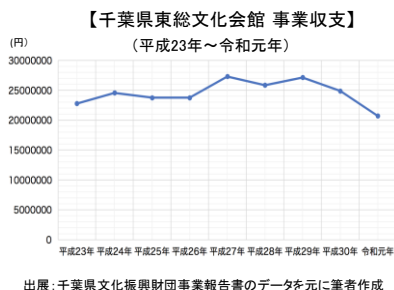
- ◆ **経済的視角** … 会館に足を運ぶ人が「まち」へもたらす経済貢献を探究する。
- ◆ **文化志向性視角** … 文化芸術面で市民の生活・心の豊かさへの貢献を探究する。

調査

経済的視角・文化志向性視角から貢献度を調査

研究対象施設：千葉県東総文化会館

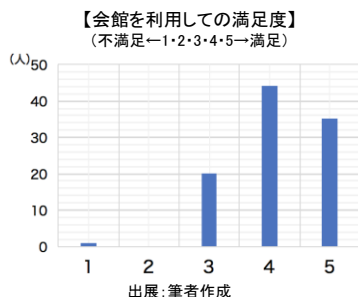
経済的視角



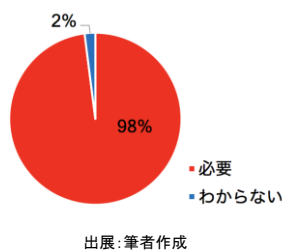
▼会館の事業収支はほぼ維持されている
→ **経済貢献の持続性がある**

▼利用者は会館使用前後にまちへ買い物に行ったり外食に向かう傾向が多い
(平均2,000円/人)
→ **「まち」への経済貢献度は高い**

文化志向性視角



【会館はまちにとって必要かどうか】



▼利用者満足度は平均**4.2**

▼「必要性」を感じている利用者は**98%**
→ **利用者は「必要性」認識**

▼会館はまちにとって必要だと思う理由

- ・市民の憩いの場所となっている
- ・市の催事を行うには必要不可欠だ
- ・有るからこそ出来ることも出てくると思う
- ・普段頑張っている文化活動等の発表の場として必要だと思うしあると助かるから
- ・地域活性化の重要な要素であるため

調査結果

- ◆「まち」への持続的な貢献がなされている。
- ◆劇場型文化施設を通じて「まち」と「市民」の重要な接合点になっている。

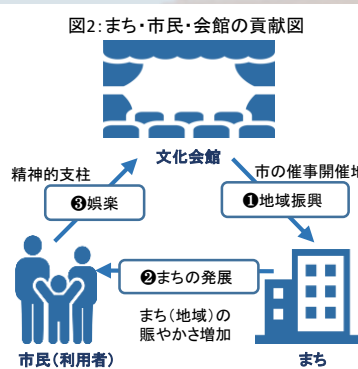
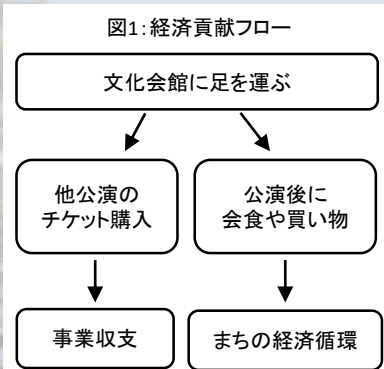
結論

「劇場型文化施設」は「まち」において高水準の貢献度を保持している
～まちへの経済的貢献・市民への精神的貢献～

『「まち」において「劇場型文化施設」は持続可能性の高い存在意義のある施設である』

図1のように文化会館が「まち」に継続的な経済貢献をしていた。また、利用者満足度調査から市民に対し文化志向性向上の効果を与えているということが判明した。

その結果、『会館・まち・市民』の相関関係は図2のような持続的な循環型である事がわかった。



◆SDGsとの関係性

劇場型文化施設は対象無く、誰でも利用可能な持続可能性の高い公共施設である

SDGs目標11-a「国や地域の開発計画を強化して、都市部とそのまわりの地域と農村部とが、経済的、社会的、環境的にうまくつながりあうことを支援する」がある。文化会館は文化事業を通して地域発展へと繋がっており「まち」に貢献している。旭市にとって「東総文化会館」は地域振興のためには必要不可欠な場であるという事が当研究から判明した。

◆注1: 劇場型文化施設の定義

- ・国、地方公共団体、民間が設置している施設
- ・舞台を中心とした文化芸術の創造・交流・発信の拠点
- ・地域住民の身近な芸術活動の場

◆注2: 貢献度の定義

- ・劇場型文化施設を利用したことによる経済的効果
- ・施設を利用して感じる心理的効果
- ・集客による副次的な効果

◆旭市データ

千葉県北東部の九十九里浜に面した自然豊かな町である。「地方創生・国土強靱化」この2つの柱を立てて「住みやすいまちづくり」に取り組んでいる。



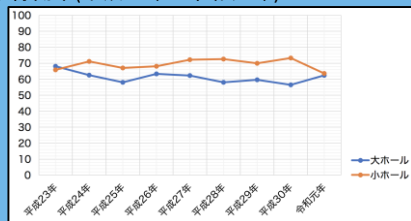
◆東総文化会館

- ・会館年…平成3年6月1日
- ・建築面積…4,724.88㎡
- ・延床面積…5,941.07㎡
- ・座席…大ホール900席/小ホール302席



出展：千葉県文化振興財団

◆稼働率(平成23年～令和元年)



◆主な地域関連事業

イベント名	概要
東総うまいもん祭り	野菜や果物、銘菓などの特産物の販売
あさひ寄席	落語、漫談などの娯楽公演 過去の主な出演者：春風亭昇太、テツandトモ
旭市文化祭	旭市の文化団体による芸能発表 主な演目：合唱・踊り・楽器演奏
あさひのまつり	地域に伝わるお囃子や踊り・神楽など 郷土芸能の祭典

どの世代にも親しんでもらう事の出来るイベントがある事により市民の精神的支柱となっている。また、文化団体の発表の場を市の行事として提供することにより文化的志向の向上へと繋がっている。舞台行事と同時にロビーにおいて「東総うまいもんまつり」のような販売を行うことにより地域振興になる。

【利用者満足度調査概要】

- ・調査時期…2020年10月～2020年12月
- ・調査対象…東総文化会館を利用したことのある男女100人
- ・調査方法…紙媒体・Googleフォーム(どちらも無記名)
- ・回答数…100名(男性:22名、女性78名)
- ・アンケート質疑項目…全6項目選択式(一部任意で記述式有り)



調査詳細アクセス